

港区まちづくり マスタープラン

台場地区

意見交換会ニュース vol.2

令和8年1月

台場地区で第2回意見交換会を開催しました

社会経済状況など、港区を取り巻く環境が大きく変化していることから、区では「港区まちづくりマスタープラン」の改定に取り組んでいます。改定に当たっては各地区(芝地区、麻布地区、赤坂地区、高輪地区、芝浦港南地区、台場地区)で意見交換会を開催し、多くの皆様に参加いただきました。



台場地区の第1回意見交換会は令和7年7月14日に開催し、「地区の魅力」「地区の課題」について意見交換しました。第2回意見交換会は令和7年12月12日に開催し、当日は、区より、マスタープランの概要や第1回意見交換会の結果、地区の魅力・特性、課題等について紹介後、「実現したいまちの将来像」や「地区の課題を解決するための取組」をテーマに意見交換しました。主な意見を次頁にまとめています。



まちづくりマスタープランとは

港区のおおむね20年後を見据えた、まちの将来像、まちづくりの方針や取組等の考え方を示す計画です。都市計画に関する土地利用や道路・公園の整備などハード分野を中心に、防災、環境、国際化、観光、福祉、子育て、環境、文化、健康増進など幅広くソフト分野の視点を取り入れて、まちづくりの方向性を示します。

区民意見交換会

区民意見交換会では、地域の実情等をお聞きするとともに、地域の魅力・地域が抱える課題やまちの将来像についてお伺いし、把握することを目的に開催します。ご意見を骨子案や素案に反映させることで、実態を踏まえた実効性のあるマスタープランにつなげていきます。



当日の主なご意見

ー 台場地区のまちの将来像や実現するための取組案について、ご意見をいただきました ー

まちの将来像／将来像を実現する視点

- ・ 将来像を実現するための取組案

土地利用・活用

行政区域境での連携がとれた統一感のあるまち

- ・ 江東区、品川区との区境でイベントを合同開催し、行政区域をまたいだコミュニティでの課題共有や協働の取組を通じて住民のつながりをつくるなど、様々な領域での連携を図っていく

住宅・生活環境・地域コミュニティ・防犯

気軽にくつろげて子育てに安心なまち

- ・ 図書館にコーヒーショップを併設するなど、気軽にくつろげる場所をつくる
- ・ 子どもを連れていける週末イベントや子ども連れにやさしい施設の充実した環境を維持する

交番が居住地にある安心なまち

- ・ 住民主体でまちを見守る交番機能、五番街を向いた交番の常駐が必要
- ・ 暴走族が集まるなどマナー低下を防ぐための巡視、ちバス停付近での喫煙に対する巡視が必要

居住と観光機能が調和するまち

- ・ 人口増加のための分譲住宅開発の促進
- ・ 巨大噴水の完成後も、お台場ならではの静かな環境を維持し、治安、ごみ、公共交通機関の混雑などの懸念事項に対応する必要がある

道路・交通

公共交通で安く移動しやすいまち

- ・ ゆりかもめの混雑に対応するためにバス増便が必要
- ・ 公共交通運賃を一律料金または乗換割引などでリーズナブルに設定
- ・ 台場地区内循環バスの走行
- ・ 有明止まりのバスやBRTを台場まで延伸

イベント時や観光客向けの対応

- ・ イベント時の道路混雑対策、ゴーカート対策(禁止等)

舟運のネットワークが充実したまち

- ・ 安価な舟運で芝浦から台場の上陸する体験を提供

緑・水

お台場ならではの落ち着いた水辺空間がネットワークされているまち

- ・ 地域ごとにある水辺空間をネットワーク化
- ・ 水辺は無理に泳げるようにせず、現状を生かした静かな水辺にし、花火などで活用するなど、お台場ならではの水辺の将来像を描いてみてはどうか

みんなで考えた植林計画が実現するまち

- ・ 桜が植わっていたところに桜の木を植え直す
- ・ 落葉や落果(清掃問題)を考慮した植栽計画・樹種選定を行い、街路樹の計画をより愛着のあるものに

防災・復興

水辺のまちならではの災害に備えたまち

- ・ 地震発生時に有明方面からの道路寸断で孤立しないように、安全な水平退避ルートを確認
- ・ 垂直避難がマンション間で相互・共同でできる仕組みをつくる

観光客も含めた災害時の避難計画

- ・ 外国人向けの避難誘導が必要
- ・ 防災無線の活用と防災訓練のやり方の見直し

国際化・観光・文化

台場の観光資源の掘り起こしと価値向上

- ・ 水と音楽と歴史、特にペリーのエピソードなどをもっとアピールして観光客を誘致

イベント時のデッキ損傷に対する対応

- ・ 花火大会で傷んだウッドデッキは事業者負担で補修

